

令和5年度「英語あそび」実施報告書

1, ねらい

府中白百合第二幼稚園

- ①外国人講師と日本人講師と一緒に英語に親しみ異文化に触れる。
- ②多言語があることを知り、言葉に対する興味関心を広げる。
- ③コミュニケーションの一つとして英語に触れることで、様々な人とのかかわりを豊かにする。
- ④action songs やゲームなど体を動かしながら英語に触れることで、「楽しい」「知りたい」「話してみたい」という気持ちを引き出す。

2, 年間カリキュラム

(1) 通年活動内容

	全学年
通年	始まりの歌・終わりの歌 名前「What's your name?」「My name is~」 年齢「How old are you?」「I'm ~」 数 フォニックス

(2) 年間トピック

	年少	年中	年長
1学期	「Feelings」気持ち 「Numbers」数 「Fruit」果物 「Vegetables」野菜 「Pet」ペット 「Farm Animals」 農場の動物	「Colors」色 「Days」曜日 「Fruit」果物 「Vegetables」野菜 「Animals」動物 Pretend to visit Zoo 動物園に行ってみよう	「Months」月 「Feelings」気持ち 「Fruit」果物 「Vegetables」野菜 「Colors」色 Animals & Prepositions 動物と前置詞
2学期	「Body」からだ 「Family」家族 「Shapes」形 「Toys & Things」おもちゃ Touch your (head) What's that? Do you want~?	「Body」からだ 「Family」家族 「Shapes」形 「Toys & Things」おもちゃ Can you touch your(toes)? Can you make a circle? Do you have~?	「Body」からだ 「Occupations」職業 「Shapes」形 「Toys & Things」おもちゃ Can you draw (big) (head) Let's make a circle. Which one do you want?
3学期	「Transportation」乗り物 「Hegiene」衛生 Let's go by bus Wash your hands.	「Transportation」乗り物 「Hegiene」衛生 What can you hear? Did you brush your teeth?	「Road safety and Transport」 交通安全 「Hegiene」衛生 Stop,Look,Listen Go straight. turn left, turn right.

3, 実施期間、回数

各学年 年間12回実施

①年少組 5/1・5/22・6/5・6/26・7/11・9/11・10/2・11/6・12/5・1/15・2/19・3/11

②年中組 4/24・5/16・5/29・6/19・7/10・9/25・10/31・11/14・12/18・1/22・2/13・3/4

③年長組 4/17・5/8・6/12・7/3・9/4・10/23・11/13・12/11・1/15・2/6・2/26・3/26

※満3歳児クラス 10/23に1回実施

4, 実施効果

	年度当初の子どもの姿	実施効果
コミュニケーション・言語	・外国人講師や英語中心の言葉のやりとりにキョトンとしている。(年少組) ・普段と異なる英語でのコミュニケーションの時間に固まる子が多い。(年中組) ・英語教室に通っていたりする子と英語とはあまり関わりがない子どもとの英語に対する興味の持ち方の差が大きい。(年長組) 英語を聞いてというよりも、ジェスチャーを見て、動作に移ることが多い。 英語をリピートする場面では、「話す」ことよりも「聞く」姿勢が多い。	・どの学年も、毎回繰り返し行われる英語での自己紹介で講師の名前を覚え、回を重ねる毎に講師にも英語にも少しずつ、慣れ、親しみを持ち、英語レッスンの時間を楽しみに待つ子が増えた。 ・日本人講師と外国人講師のチームティーチングの利点を生かし、英語の意味が理解できない学年やクラスは時折日本語でのフォローをお願いし、少し不安を感じている子も安心した環境で英語レッスンの時間を過ごすことが出来た。 ・英語教室等に通い、英語の楽しさを経験している子ども達に刺激を受け、次第にクラス全体の子ども達からの発信が多くなる。 ・「sit down please」「let's stand up」など英語あそびの中で繰り返される表現に慣れていった。毎回使われるフレーズは、耳で聞いて動く姿も見られるようになってきた。 ・絵カード等、視覚や動作を付けながら、繰り返しリピートする経験を通して、何を意味する言葉なのか次第に理解出来るようになる。 ・外国人講師に「hello」「see you」「thank you」など自ら挨拶をしたり、「happy」「hungry」「yummy」「good idea」など、英語あそびで触れた簡単な単語を使って講師に話しかけ、自分なりの方法でコミュニケーションを取ろうとする園児が増えた。(年長児)

手遊び・ゲーム・絵本	英語での歌やゲームをするのは初めての様子で見ている子が多かったり、受け身的に参加をしている様子が見られる。 絵本は、視覚で捉えやすいので、比較的どの学年も楽しんで見ていた。	・ action songs などリズムに乗って真似をしながら講師と一緒に体を動かしたり、楽しめるようになった。また、日本人講師もいることで、ゲームのルールを日本語で受けることができ、より英語でのゲームが楽しくなり外国人講師との距離も縮まった。(年長組) ・ じゃんけんなど遊びの中で触れる言葉を英語で言うと「rock scissors paper」とリズムカルになることなど自然な形で、意味は理解できていなくても、英語の音の響きを楽しむことができた。(年少組・年中組) ・ 簡単な絵本は視覚的にも楽しむことができ、内容を理解しやすかった。 ・ 聞いたことがある単語やフレーズがでてくると、「知っている」と声が上がり、分かるということが自信につながった。 ・ 仕掛け絵本は「open please」など簡単なフレーズを言うことでストーリーが進んでいき、自然な形で英語に親しむことができた。
文化	季節の行事等、子ども達が、日本で経験している日本の文化と同じように他国にも様々な文化があることを紹介される。 外国人講師の肌の色や目の色の違い、体格の違い等に気付き、多少の違和感を持つ子どももいる。	・ 絵本を通して、アメリカのハロウィンやクリスマスの過ごし方を知り、ハロウィンやクリスマスの行事の由来にも興味を持つ事が出来た。 ・ 行事の楽しい歌や簡単な英語の合言葉を教えてもらい、子どもたち同士でも、英語で言葉をかけあう姿が見られる。 ・ 英語レッスンで外国人講師と日本人講師が英語や日本語を交えた英語で仲良く話をしている様子やレッスンを受けている中で、表情の豊かさや大きなジェスチャーで分かりやすく接してくれる外国人講師との触れ合いが楽しく、親しみを持つ事が出来るようになり、自然と違和感が無くなっていく様子がみられた。 ・ 外国人講師と英語を使ってコミュニケーションを取ろうと試みたり、それを一緒に楽しむ子どもが多くなる様子から国を超えた人間同士の触れ合いが感じられる。

※満3歳児クラスは、3歳児クラスへの導入として1回のみ実施した。

いつもと違う雰囲気泣き出す子どもがいたり、英語を楽しむという段階ではなかった。

5, 自己評価

<評価> A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった

評価	理 由
B	◎外国人講師と日本人講師と一緒に英語に親しみ異文化に触れ、言葉に対する興味関心を広げることができ、回数を重ねるごとに外国人講師や英語の環境に慣れていく様子が見られた。 ◎生活の中で子ども達が使う言葉・動作や気持ちなどの英語の単語や2語文程度の簡単な会話を覚える事が出来た。 ◎action songs で体を動かしながら英語の歌をうたったり、ゲームを楽しんだりして英語に触れることができ、英語を身近に感じる事が出来た。 ◎英語のレッスンの中で外国人講師と触れあうことにより、言葉は違い、全部は理解出来なくても、表情やジェスチャーで人間同士のコミュニケーションを取ることが出来ることを感じられた。 ◎今年度初めて導入した英語レッスンだった為、保育者も英語講師と話し合いをしながら、試行錯誤の1年であった。今後、普段の保育の中でも英語に触れる機会を作り、子どもの意欲・関心を高めたい。

※満3歳児については、来年も3歳児クラスへの導入として実施の予定だが、時期など考慮して実施したい。